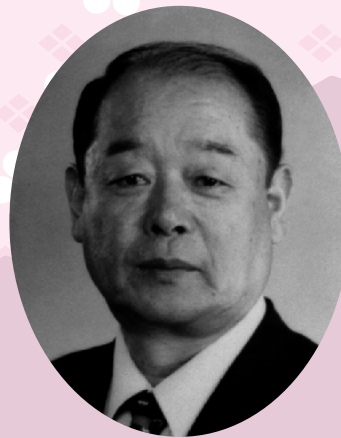


## 大田原市議会議長

# 新年あいさつ



副議長 小池 清一



議長 小林 正勝

新年あけましておめでとう  
ございます。

市民の皆様には、二〇〇九年の希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

時の流れは早いもので、新生大田原市が誕生して三年三カ月が経過いたしました。一年一年、年を重ねるごとに地域間の垣根が無くなり、市民一人ひとりが「一つのまち」として、「大田原」を意識するようになっていくものと感じております。それぞれの地区が大切に育んできた伝統や文化を今では他の地区の人達も自分たちの伝統・文化として意識しはじめております。

さて、昨年は、米国の住宅バブル崩壊に端を発した世界的な金融危機により我が国も株価の下落や円高による企業業績の悪化など、今後、日本を取り巻く状況は決して明るいものではないと見られます。この状況は、地方においても決して他人ごとではなく、市民税や法人税へも影響を及ぼすことが危惧されます。

しかし、本市はそのような状況下にあっても、昨年各種事業に積極的に取り組んでまいりました。主なものとして、黒

羽支所 観光交流センター、黒羽・川西地区公民館を併設した複合施設であります黒羽庁舎を整備し、そして、昨年は日本とフランスの交流が始まって五十年の節目にあたる年であったことから、佐久山地区出身で、日本で初めてフランス語辞典を編さんした村上英俊氏の功績を称える顕彰碑を建立するなど、引き続き積極的に各種施策に取り組んだものと評価しております。

市議会といたしましては、昨年三月定例会において、地域医療等調査特別委員会、地方行政等調査特別委員会、地域環境等調査特別委員会を設置し、それぞれ調査、研究を行い、各種難題への政策提言等をまとめているところでございます。

また、我々議員は、これからもより一層、開かれた議会を目指し、一丸となって、市民の皆様とともに「幸せ度の高いまち」の実現に向け、最善を尽くす覚悟でございます。

市民の皆様におかれましては、今後とも尚一層ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今年一年間の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。